

省エネ診断実施例

北 東 部 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー

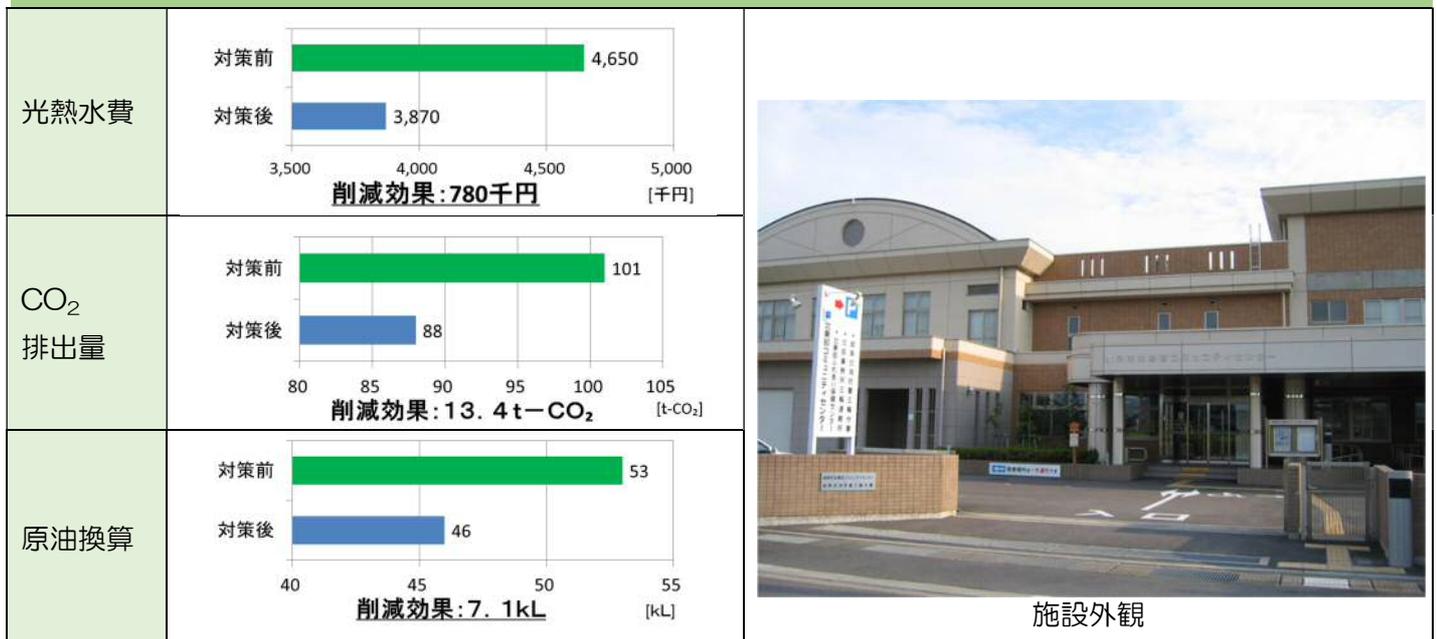
◆ 診断内容の要旨

- 投資不要な運用の改善によって年間約2.8万円の光熱費(CO₂排出量:0.6t-CO₂)の削減が見込まれる。
- 5年以下の投資回収期間で実施できる対策によって、年間約33.8万円(CO₂排出量:3.8t-CO₂)の光熱費の削減が見込まれる。

◆ 主な改善提案

改善提案項目	改善提案内容	削減額 [千円]	投資額 [千円]	回収年 [年]
1.大集会室の外気導入量の最適化	換気における外気導入を最適な必要量に調整することで、空調機の使用電力の省エネ	28	—	—
2.空調室外機への日射遮蔽	よしず等で室外機の日射を遮蔽することで、夏期の空調機使用電力の省エネ	101	50	0.5
3.空調機室外機のフィン清掃	空調機の室外機フィン(フィルタ)を定期的に清掃することで、空調機の空調効率を改善	72	150	2.1
4.デマンド監視装置の導入	電気使用状況の“見える化”により、運用改善を図ることで、契約電力を下げることができ、さらに年間を通して電気使用量を削減	165	400	2.4
5.照明のLED化	LED照明にすることによる省エネ化	414	2,632	6.4
合計		780	3,232	—

◆ 削減効果の見込み



◆ 他にも適用できる施設例

- 換気における外気の導入について最適必要量が未検討の施設(室内CO₂濃度900ppm以下の施設は外気取入量の削減余地あり)
- 空調の室外機を建物南面や屋上に設置している施設、室外機フィン(フィルタ)の清掃が滞っている施設
- 季節間や日間で電気使用量の変動が大きい施設
- LED照明が未導入で、照明の更新時期が近付いている施設

◆ その他の効果

- ビジエネ（中部電力株が運営する事業者向けWEB サービス）への登録により、“無料で”電気使用状況の“見える化”が可能になり、「運用改善による省エネの余地」、「最適な料金プラン」や「空調機等の機器の更新における最適必要能力」などを検討するための有益な情報が得られる。